

## 国際基督教大学（ICU）高等学校に関する Q&A

2022 年 10 月

本校に関して一般生の皆さまから多くお寄せいただくご質問について、以下の 9 つの項目に分けてまとめました。

本校にお問い合わせをいただく際には、まず必ず「募集要項」とこちらの「Q&A」に回答が記載されていないかご確認いただいた上で、下記の帰国生徒教育センターまでお問い合わせいただきますようお願い申し上げます。

- |             |                   |
|-------------|-------------------|
| 1. 授業について   | 7. 募集要項の請求について    |
| 2. 部活動について  | 8. 提出書類について       |
| 3. 進路について   | 9. 一般入試の国際生徒枠について |
| 4. 国際交流について |                   |
| 5. 学寮について   |                   |
| 6. 奨学金について  |                   |

なお、記載されております内容は、作成時点でのものとなっております。

帰国生徒資格認定や入学試験の詳細につきましては、必ず、当該年度の募集要項ならびに、本校 HP に掲載される最新情報をご確認いただきますようお願い申し上げます。

4 月入学試験については、例年 7 月下旬頃に募集要項（PDF 版）を本校 HP にて公開しております。ご出願される方は、8 月上旬以降に本校 HP の資料請求フォームから募集要項（冊子）をお取り寄せください。

※本校では 2022 年度入試より、Web エントリーを導入しております。

出願方法やプロセスについての詳細は、募集要項や本校 HP にてご確認ください。

※今後決定される事項につきましては、その都度速やかに本校 HP にて公開してまいりますので、こまめにご確認いただくことをお願い申し上げます。

<お問い合わせ先>

国際基督教大学高等学校 帰国生徒教育センター

E-mail: icuhs-rs@icu.ac.jp

Tel: 0422-33-340

## < 1. 授業について >

帰国生と一般生は同じ授業を受けるのですか？

英語のクラス分けはどのようになっていますか？

英語・国語・数学については4～5段階にレベル分けされており、自分にふさわしいレベルの少人数クラス（20～25名）で学びます。教科によっては、学期単位でレベルの移動も行われます。地歴公民・理科などでも、多くの授業が少人数で行われています。他方、ホームルーム単位で行われる教科もいくつかあります。

英語での授業は一日どのくらいありますか？

ICU 高校は日本の教育制度に基づく高等学校ですので、授業は基本的に日本語で行われます。

1年生については「英語」の授業は全て英語で行われ、週に最低6時間あります。5つのレベルのクラスに分かれて、少人数で学びます。レベル1～3は、英語圏の現地校の授業に相当する内容で行われ、多様な文学作品をじっくり読み、ディスカッション、プレゼンテーション、エッセイへと展開します。

レベル4は2つに分かれ、週に6時間、外国語としての英語（EFL）を学びます。主に多読や速読、リスニング、スピーキング、グループ・プレゼンテーション、基礎的なアカデミック・ライティングを含む学習内容です。中学校で身につけた英語に磨きをかけ、一つひとつの能力をより高いレベルへと引き上げることを目標とします。

2年生以降は選択する授業によります。

文系の高校というイメージがあるのですが、理系の授業はどのような感じですか？

生徒の1/3～1/4が理系を志望します。主要教科では、少人数レベル別授業（4～5レベル）を行っていますので、数学や理科などの授業も少人数で、手厚い指導を行っています。理科では、「一授業一実験」を目指して、少人数での実験観察とレポート作成の機会を多く取り入れています。教員は、対面・オンライン含め、個別的な対応や相談に乗りながらサポートしています。

3年次には、演習科目を多く設置し、大学入試に向けた実践力を養成するほか、自由研究講座として「AP Statistics」「実験化学」「イプシロン・デルタ論法をマスターしよう」（2020年度）など、理数の教員がそれぞれの専門を活かした授業を展開します。

併設の国際基督教大学（ICU）は、教養学部一学部の編成ですが、「生物学」「物理学」「化学」「数学」「情報科学」「環境研究」などのメジャー（専修分野）を学ぶこともできます。理系の卒業生は優れた進学実績をあげていますが、英語の力に磨きをかけて、ICUから海外大学院へ、ICUから国公立大学院へ進学し、研究者や技術者として世界活躍している先輩がいることも自慢です。

## < 2. 部活動について >

ICU 高校の部活動について教えてください。

本校の部活動については、本校の学校案内（HPからPDFをご覧ください）や本校HPの”School Life”のページをご参照ください。

練習の頻度などは部によって異なりますが、兼部をする生徒もいます。

最終下校時刻は、夏季（4月～9月）は18:00、冬季（10月～3月）は17:30です。

部活動等はこの時間に間に合うように終了します。

## < 3. 進路について >

ICU（国際基督教大学）への推薦枠はありますか？

本校から80名の推薦枠があります。推薦されるためには、大学側が提示した条件を満たす必要があります。

---

文系の高校というイメージがあるのですが、理系への進学はどのような感じですか？

理系の生徒も例年2～3割くらいおり、毎年国公立大や医学部等への進学実績もあります。

ICU（大学）は教養学部一学部の編成ですが、「生物学」「物理学」「化学」「数学」「情報科学」などのメジャーがあり、ICUから海外や国公立大の大学院へ進む卒業生も多くいます。

---

海外大学への進学を希望する場合、サポートはありますか？

海外進学者はどのくらいいますか？

APについては、English Literature and Compositionが開講されています。

SATの校内受験が可能であり、SAT対策の授業の他、ネイティブ教員が相談に乗っています。

例年、一般生も含め10名程度が海外（英語圏以外含む）に進学しています。

## < 4. 国際交流について >

国際交流プログラムについて教えてください。

例年実施している各種スタディーツアーについては、2022年度は海外に渡航するプログラムはまだ実施できていませんが、国内で行うプログラムは再開しています。また、オンラインで実施されているプログラムは通年で様々実施しています。

## < 5. 学寮について >

学寮には、希望者全員入れるのでしょうか。

希望する生徒全員が入寮できるとは限りません。

保護者が両親とも海外在住など、必要性が高いご事情の方から優先して入寮可能かどうか決定します。

入退寮は学期ごとにお認めしており、保護者の方のご帰国、再度の海外転勤などに伴い入退寮が発生することもあります。

入寮を希望する場合、身元引受人は関東在住でないといけませんか？

週末を含む閉寮時に滞在する民間寮の方を身元引受人にすることはできますか？

緊急時に本校からの連絡に応じて、すぐに駆けつけていただけることが必要となります。

例えばインフルエンザ罹患時などには、身元引受人様に迎えに来ていただき、身元引受人宅等にてお過ごしいただくこととなります。

また、本校の学寮は週末閉寮というシステムを取っておりますため、毎週末、身元引受人様の元でお過ごしいただくこととなっております。

その他、試験休みや長期休暇なども閉寮となりますのでご承知おきください。

閉寮時のみ、学外の民間寮（費用別途）にて過ごす生徒もおりますが、その場合でも、民間寮の方を身元引受人とすることはできません。別途、必ずご親戚など、保護者の代わりになっていただける身元引受人を立てていただく必要があります。

保護者が急遽海外に転勤になった場合、入寮することはできますか？

入退寮については、学期ごとにお認めしております。学期の区切りで空きが出た場合、入寮できる場合があります。

## < 6. 奨学金について >

奨学金にはどのようなものがありますか？

本校の学校案内（HPからPDFをご覧ください）をご参照ください。

## < 7. 募集要項の請求について >

募集要項(願書)の入手方法について教えてください。

4月入学募集要項は例年8月上旬から配布しています。本校HPの[「学校案内/募集要項」](#)→[「資料請求」](#)をご覧ください。

※募集要項の発送は国内のみとさせていただいておりますため、海外在住の方はお手数ですが、国内にお住まいの方に入手・転送をご依頼願います。

海外在住で、致し方ない理由で募集要項(冊子)を入手することが不可能な方は、帰国生徒教育センターまでご相談ください。(国内在住の方は必ず冊子を入手してください。)

※出願書類の提出は国内外問わず郵送にて受け付けます。

## < 8. 提出書類について >

日本の中学校を卒業見込みですが、在学中に海外に留学していて、一学年分の海外の成績が提出できるので、一般入試の国際生徒枠を受験したいと思います。調査書は一般入試用の調査書(所定用紙)でよいでしょうか？

一般入試の国際生徒枠を受験される場合は、本校の所定用紙「調査書(帰国生徒・一般入試【国際生徒枠】用)」をご提出ください。

留学していた期間の成績については、現地での成績書類(厳封)もご提出ください。

---

一般入試に出願する際、調査書以外に、補足資料として推薦状や外国語検定試験の結果、課外活動の成果などを提出することはできますか？

審査の対象ではありません。任意での提出も認めておりませんので、提出は避けてください。

## < 9. 一般入試の国際生徒枠について >

Grade 9未修了なのですが、出願できますか？

一般入試(国際生徒枠含む)は、Grade 9未修了での受験はできません。

入学年の3月修了または修了見込みの書類が発行されない場合(6月修了など)、次の年度の4月入学試験を受験していただくことになります。

※出願時に中卒認定試験に合格している場合、受験が可能となる場合があります。

中卒認定試験の詳細については、文部科学省のHP などをご参照ください。

---

### 現在、国内のインターナショナルスクールに通っていますが、海外在留の経験はありません。帰国生徒として受験できますか？

国内インターナショナルスクールの在籍歴だけでは、帰国生徒入試に出願できません。

国内インターナショナルスクール在籍歴のみの場合は、入学年の3月までに中学3年相当(米国系の場合 Grade 9)を修了もしくは修了見込みであれば、一般入試の国際生徒枠に出願できる可能性があります。

詳しくは、4月入試の募集要項(例年7月下旬に公開)をご覧ください。

---

### 志願者が海外勤務の保護者に帯同ではなく海外留学をしました。

#### 帰国生徒として出願できますか？

本校の帰国生徒としての資格を得るためには、「海外に勤務する保護者との重複する海外在留期間が所定の期間内に1年6か月以上」という要件を満たすことが必要です。

志願者のみの単身留学の場合や、海外勤務を行っていない付き添いの保護者と留学をされた場合、その期間は上記の期間に算入することはできません。もし、その期間以外で出願要件を満たすことができない場合は、帰国生徒として出願することはできません。

ただし、海外留学の期間によっては、一般入試の国際生徒枠での受験が可能な場合がございますので、募集要項にてご確認ください。

(過去の募集要項を参考にされる場合は、必ず受験される年度の募集要項をご確認ください。)

---

### 海外に一年間のみ留学していた(一学年分の海外成績が提出可能)ということで、一般入試を考えています。海外経験があるなら、国際生徒枠で受験をしないといけないのでしょうか？

しないといけないということでは全くありません。

一般入試では、本校所定の一般入試用の調査書に基づいて、3年の最終成績を2倍して自動的に足すということになりますが、国際生徒枠の場合、中学校3年間の成績をご提出いただき、見せていただくという点が異なるところです。国際生徒枠で受けたからといって、合否で不利になるというようなことはありません。

以上